

What is Seikeijuku?

青経塾とは？

社業の発展の為には、まず、トップである経営者自身の成長・人格の向上が第一です。

青経塾とはその為に良き友・ライバルたちと共に切磋琢磨しながら、自己啓発していく場です。

塾是

自己啓発と豊かな心で、真の経営を創造しよう

目的

- 1 塾生の人格向上、並びに社業の発展に寄与する
- 2 塾生間の親善を深め、豊かな人間関係をつくる

Establishment of Seikeijuku.

青経塾のはじまり

青年経営者研修塾(青経塾)は、昭和49年6月、塾主 遠山昌夫(菊水化学工業株式会社 最高顧問)を中心に「若い経営者たちが人間としての生き方、経営に対する姿勢や方策を学ぶ場」として誕生しました。研修塾としたのは、幕末から明治維新にかけて有為な人材を輩出した「松下村塾(吉田松陰)」や「適塾(緒方洪庵)」のように「志をもって目的に向かい、学びあう場」であるという思いが込められているためです。



青年経営者研修塾 塾主 遠山 昌夫

上場企業にまで育て上げた経験を通じて培った、経営哲学を若き経営者に伝播するため、経営塾「青年経営者研修塾」創設。35年の活動で、卒業生は約千人に達した。多くの人を引き付け、今も若い経営者に脈々と受け継がれる遠山語録は、「実践あるのみ」という生き様から導き出されている。

- 昭和34年 5月 名古屋市中区で菊水商事有限会社を創業
- 昭和36年 3月 菊水株式会社に組織変更
- 昭和38年 6月 菊水化学工業株式会社に社名を変更
- 昭和63年11月 同社 名古屋証券取引所に上場
- 平成13年 6月 同社 代表取締役会長に就任
- 平成21年 6月 同社 最高顧問に就任

沿革

- 昭和49年6月 塾主 遠山昌夫を囲んで第1青経塾発足
- 昭和58年10月 10周年記念行事(千種公園)
- 平成5年3月 20周年記念事業・ウォーゲーム(木曾三川公園)
- 平成15年4月 30周年記念事業・えんためばんばん祭(名古屋市中心企業振興会館)
- 平成22年11月末現在 在籍塾生数/1,470名

Come Study at Seikeijuku!

どんなことをするのか？

青経塾は、陽明学に基づく「行動主義」と塾主 遠山昌夫自身の経験から体現された「人間主義」の二つを柱とした塾是の下、3年を一つのカリキュラムとして真の経営者を目指し学んでいきます。

0 入塾前

躰とマナー

塾生としての礼儀作法、塾是・塾歌及び行動規範の修得

1 年目

知行合一

志の認識、品格と人格の向上、自分とは何かの探求

2 年目

経営哲学

志の探求、経営理念の確立、剛さと優しさを持つリーダーへの成長

3 年目

経営計画

志の確立、経営計画の作成

卒業



■入塾式



■単塾研修(体学)



■講義研修



■卒業式

4 年目以降

ゼミ・ブロック塾など

4年目以降(卒業後)も「人は使命と責任を感じたとき、私欲を捨て人の心をつつ仕事ができる」という思想を体現すべく、それぞれの塾という枠を超えて、日々切磋琢磨しています。



■ゼミ活動 経営計画作成



■ブロック塾 合同研修



株式会社マブス 第11青経塾 横山 順弘

「carといえばGOO」誰もが聞いたことがあるこのフレーズ。情報誌「GOO」を作っている車情報のオンリーワン企業、株式会社プロトコーポレーションの元代表取締役副会長 横山氏は、24年前に38歳で青

経塾に入塾。当時は売上8億円、社員数30名程度の中堅企業だった。入塾をきっかけに「個人経営的な」プロトコーポレーションを「組織化・企業化」するため、経営理念を確立。静岡、大阪、東京と全国展開していった。「時代の流れの中で、未来にあわせ何を売るかを常に考える」姿勢を貫き、2001年には上場も果たし現在は売上270億円、従業員数は700名以上。20~30代の若手社員が活躍する活気あふれる企業に育てあげた。横山氏は現在、株式会社マブスを設立し投資育成事業やコンサルタント事業に新たな情熱を注いでいる。



プロトコーポレーションイメージキャクター 佐々木希

会社概要

- 設立/2008年6月 ■資本金/3,000万円
- 事業内容/経営コンサルタント 若手経営者育成及び投資事業
- 現在、ベトナムの「ジャパン ライフスタイル ショップ」を運営するベトナム人若手経営者を共同で支援。名古屋ITの人たちを集めた「でらIT 関連ミーティング」を主宰する他、(株)プロトコーポレーション、(株)ティアの持株会社「夢現」代表取締役。その他、社外監査役三社を兼任する。



株式会社マリノ 第12青経塾 水野 弘規

イタリア気分で美味しく楽しく!多くの家族やカップルで行列ができる店として知られる「ピッツェリアマリノ」は、店内に陽気さや温かさがいっぱい。そんな楽しい雰囲気の中、スタッフの明るい笑顔とサービスが、さらにお客さんの心をつかむ。相手の

喜びをワクワクしながら一生懸命考え、ドキドキしながら伝える。マリノの経営理念「Heart To Heart」は、お客さんに喜んでもらう仕組みとなって、お店にあふれている。店内から見える石釜から取り出されるできたてのピザ、それを取り分けながら過ごす楽しい時間が思い出になる。その創業は水野氏が若干21歳の時、喫茶店1店舗からのスタートだった。入塾後に法人化し、現在、店舗数は40店舗を超える。近年は大型ショッピングセンターにも出店するなど、更なる展開を図っている。自身の抱く大きな夢と、その実現に向け行動し続ける姿が、どんなに苦しいときも社員に夢を与えてきた。経営者の夢が社員の笑顔呼び、お客さんの心をつかむ。そんな幸せを分け合う心のある会社である。



会社概要

- 設立/1988年10月
- 売上高/42億円(平成22年3月期)
- 従業員数/1,200名
- 事業内容/イタリアレストランの経営・ピッツェリアマリノのFC展開
- URL/http://www.marino-net.co.jp



株式会社 買取王国 第31青経塾 坪井 秀樹

大手AP/パレルメーカーを経て、傘の卸売業をしていた実家の3代目に就任。経営のイロハも知らなかったその頃、青経塾と出会いさまざまなことを学んだ。しかし、業界の将来性などの不安もあり、廃業という道を選択することになる。その

後、それまでに築き上げた縁と、自分の能力が生かせる部分とが合致して、2003年に数社の協力体制を得て、買取王国を設立。初代表取締役社長に就任する。店舗コンセプトは「わくわくドキドキ・大発見!」。「モノを売るのではなくコトを売りたい」、「体験や発見する楽しさを商品として売っていきたい」と、お客様の来店動機・購入動機・再来店動機はどこにあるのかを、常に念頭に置いて経営に取り組んでいる。現在では、グループ全体で売上高46億2,494万円(第11期2010年2月期実績)、従業員数650名と、着実に業績を伸ばしている。



会社概要

- 設立/2003年3月 ■資本金/2億1,812.5万円(グループ全体)
- 事業内容/買取王国・ガンシングヘアの直営店舗展開・運営
- 古着・ホビー・雑貨・デジタル家電等の販売/買取
- 本・CD/DVD・ゲームの販売/買取
- マジカルガーデン、タックルベリー、キングファミリーへのFC加入
- 買取王国のFC事業展開(予定)
- URL/http://www.okoku.jp/



タカハシテクニカ 株式会社 第36青経塾 高橋 弘茂

タカハシテクニカ株式会社は、工作機械部品や航空機部品などの精密部品加工を得意とする。社歴は古く、ルーツは大正元年までさかのぼる老舗の会社である。高橋氏と青経塾の出会い、1992年の新聞広告であった。当時、氏は早く社長に

なりたいたいと考えており、自らの器を広げる場を探していた。塾を卒業後、3年間の英国での修行を経て、4代目の社長に就任したのは2001年8月のこと。その当時の経営状況は決して順調ではなかったが、就任するや、大胆な改革を次々と実施に移した。その中で人材育成には特に力を入れた。「心技鍛錬」という経営理念が示す通り、会社とは社員一人ひとりが成長する場であり、日々の心と技の鍛錬こそが最も重要であると考えた。現在ではタイの現地法人にも力を入れ、資本金を2億円に増資、第3工場の設立に至る。また、タイへ進出を計画している中小企業の現地支援の事業もやっている。来期は営業展開をグローバル化するため、シンガポールに営業拠点となる現地法人を設立する予定。



会社概要

- 設立/1912年(大正元年) ■資本金/6,500万円
- 従業員/110名(グループ含む)
- 事業内容/工作機械部品、航空機部品、電機・電子部品の製造、円型生爪の製造販売
- 人材育成事業・クアアレッジ、人材派遣業(股)23-300440、有料職業紹介事業23-1300234
- URL/http://www.teknic.co.jp/